

みずべのさんぽみち

【約4kmコース】

キラキラと輝く水面と波の音を聞きながら
のんびり歩いてみませんか？



大島山登り口



大島山石仏



大島地藏尊



対岸から見る
大島山(大島城跡)



シバナ群落



水仙の群生
初春には水仙が
見られる



善光寺



旭大橋から望む
おこくがわ
苧谷川



湊水産



のしま
籠島

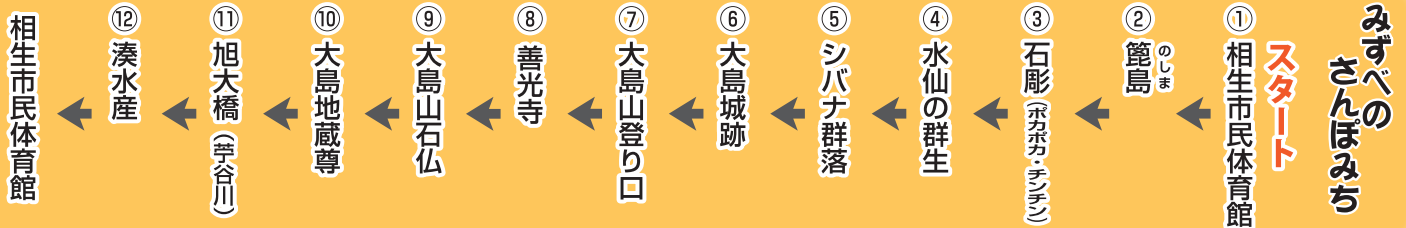


石彫：
ポカポカ・チンチン
(ゆっくり・かんぱい)



那波港

商品流通の好条件を備えた那波港は、商業の中心として14世紀初頭から栄えたところである。康安4年(1361)那波浦市が立ち、換貨されて京都へ送られていた。このように早くから商品取引や、積出港として栄えた。ことわざに「那波の港か 坂越か 室の泊りか」とよばれ三港とも良き港であった。



相生湾周辺に位置する護岸・歩道・川べりを周回・散策ができる那波港を一周する遊歩道。市街地でありながら干潟、シバナ群落、またペーロン城、中央公園、大島山、芋谷川、石彫など自然と身近に親しめる場所が多く点在している。

② 籠島

野島とも書き竹島とも呼ばれる。その昔矢竹が生えていたのでこの名がついたという。松の浦の埋め立てで地続きになり、相生大橋の建設で半分削られてしまった。

「相生ふるさと散歩」より

③ 石彫：ボカボカ・チンチン (ゆっくり・かんぱい)

ペーロン城東の健康歩道「ふみっこ」のそばにユーモラスな石彫が二体設置されている。これは「'99 西播磨彫刻シンポジウム in AIOI」で公開制作された東山嘉事さんの作品。

⑤ シバナ群落：相生市指定天然記念物

(昭和58年3月31日指定)

塩沼地に生育する多年草の植物。このシバナ群落は、淡水がまざり満潮時には水没し、干潮時には干潟(ひがた)となるような場所で生育する。分布地域は北海道から九州まで広範囲だが、生育条件に限られるので瀬戸内海地域では広島県の宮島と当地のみで大変稀少価値のある植物のひとつ。

「相生市教育委員会」

⑥ 大島城跡

大島山は蝦江(相生湾)に浮かぶ美しい離れ島であった。那波新田を開墾した際陸つぎとなった。遺構として東側に犬走りが残っており、北側には三段階の腰曲輪と帯曲輪が認められる。また、土俵も残されている。善光寺の背後には、中世のものと思われる五輪塔・宝篋印塔がみられる。

「相生ふるさと散歩」より

⑧ 善光寺

室町時代より、大島城主・海老名家の菩提寺として興隆、衰退を繰り返し、宗派も転々としてきた寺で、昭和3年より信州善光寺の御本尊の分身の光三尊善光寺如来を祀る寺として、一庵が建立されてから、現在に至り、平成12年より全国善光寺めぐりの札所の一つとして、「相生の善光寺」の愛称で全国各地から参拝に来られるお寺。

「善光寺案内板」より

⑨ 大島山石仏

大正時代末、西国三十三カ所の石仏が当山に地域の人たちによって奉納された。

「善光寺HP」より

⑩ 大島地藏尊

右側は大正時代に建てられたもの。左側は元高取峠にあったものを移したといわれる。眼病にかかった一婦人が参拝のおかげで眼病が完治し、こんなご利益がある地藏ならば、高取では遠方で便利が悪いので、この地に移したといわれる。

「相生ふるさと散歩」より

⑪ 芋谷川

以前は現在の川と東側にあった分流と二本流れていた。東側の分流は昭和30年頃埋め立てられ中央通りになった。

「ふるさと相生の二十世紀」より

